

令和4事業年度

決 算 報 告 書

自：令和 4年4月 1日

至：令和 5年3月31日

国立大学法人静岡大学

令和4年度決算報告書

国立大学法人静岡大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	9,104	9,412	307	(注1)
施設整備費補助金	1,100	1,386	286	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	435	583	148	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	39	16	△ 23	(注4)
自己収入	6,266	5,674	△ 591	
授業料及び入学料検定料収入	6,020	5,426	△ 593	(注5)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	245	248	2	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,140	2,483	342	
産学連携等研究収入及び寄附金収入	1,925	2,266	340	(注7)
その他	215	217	1	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	495	495	(注8)
計	19,085	20,051	966	
支出				
業務費	15,340	15,415	74	
教育研究経費	15,340	15,415	74	(注9)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	1,139	1,402	263	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	435	285	△ 149	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,140	1,976	△ 163	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費	1,925	1,759	△ 165	(注12)
その他	215	217	1	
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	30	29	△ 0	(注13)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	19,085	19,109	24	
収入－支出	-	942	942	

注：百万円未満の端数については、切捨で表示してあります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、年度中に退職手当等の追加配分があったため、決算額が307百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していた額よりも多くの補助金が得られたため、予算額に比して決算額が286百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していた額よりも多くの補助金が得られたため、決算額が148百万円多額となっています。なお補助金等収入の決算額には、授業料等減免費交付金が298百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、予算段階で予定していた額よりも補助金を得られなかったため、決算額が23百万円少額となっています。
- (注5) 授業料及び入学料検定料収入については、授業料・入学料免除の実施や適正な定員管理に努めたことにより、予算額に比して決算額が593百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、機器利用・試験等収入の増などにより、決算額が2百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、受託研究等及び寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が340百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、実施時期が未定であった新規事業の実施等により、決算額が495百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、共同利用機器の導入等により、決算額が74百万円多額となっています。
- (注10) (注2) に示した理由等により、決算額が263百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、事業繰越となったこと等により、予算額に比して決算額が149百万円少額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費については、事業繰越となったこと等により、予算額に比して決算額が165百万円少額となっています。
- (注13) 長期借入金償還金については、予算額に利息額を計上していますが、決算額には教育研究経費へ計上しているため、予算額と決算額に差異が生じています。